

事業所名

ココアート岐南徳田

支援プログラム（児童発達支援）

作成日

2026 年

2 月

1 日

| | | | | | | | | | | | | | |
|-----------|-----------------|--|----|---|---|-----|---------|---|---|-----|---------|----|----|
| 法人（事業所）理念 | | 保護者、学校・保育園、地域社会と密に連携して、子ども一人ひとりの「可能性を広げ」「やりたいこと」を見つけ出し「自分の夢」へとつないでいける療育を目指します。 | | | | | | | | | | | |
| 支援方針 | | ○遊びながら学ぶ支援・・日々モールステップを意識しながらお客様の遊びの中から学んでいただけるように支援します。 ○感覚統合療法・・感覚統合療法を取り入れた活動を通し日常の暮らしで感覚の強弱を調節したり、感覚を受け入れる量を調節できるように支援します。 ○季節を大切にされた療育支援・・天気や温度、風や雨、四季の行事を大切にしながら周囲の環境に興味関心を向けられるようにして、時の流れに意識が向けられるように支援します。 ○個別療育・・一人ひとりの課題を本人、保護者や関係機関と話し合いながら、一貫した方向性で本人に負担のない個別療育をします。 | | | | | | | | | | | |
| 営業時間 | | 月から金 (平日) | 10 | 時 | 0 | 分から | 19 | 時 | 0 | 分まで | 送迎実施の有無 | あり | なし |
| | | 土、祝日 長期休み | 9 | 時 | 0 | 分から | 18 | 時 | 0 | 分まで | | | |
| 支 援 内 容 | | | | | | | | | | | | | |
| 本人 支 援 | 健康・生活 | ・日常生活の中で、大人や友達とのコミュニケーション力が育っていくように支援をします。事業所の生活の中から日々本人が抱えている課題に向き合い、持ち物管理、道具や玩具の片付けなど、環境の整備を主体的に行えるように支援します。お子さんの理解しやすい方法を模索しながら タイマーを使って時間の感覚を身に着けたり、絵や文字のスケジュール表などを利用して視覚的に分かりやすく伝えるなど工夫して伝えます。・生活リズムの形成を大切にしながら健康状態の維持、改善に必要なスキルの育成に努める。 | | | | | | | | | | | |
| | 運動・感覚 | ・着席して活動する静の時間と集団でゲームあそびを楽しむ動の時間を提供します。座学を通して姿勢保持を心がけたり、微細運動のような手先の器用さを育てる活動をします。ワークブックなどを活用して継続的に座学と手先の器用さを育てていきます。動の活動では、体のどの部分を動かしているかなど、関節が円滑に動くようにリトミックやダンス、トンネルや平均台を使用して粗大運動から思い通りに自分の体を動かせるように支援します。・保有する感覚（視覚、聴覚、触覚、嗅覚、固有覚、前庭覚等の感覚を十分活用できるよう、遊びを通して支援する。 | | | | | | | | | | | |
| | 認知・行動 | ・一人ひとりの認知の特性を理解し、それらを踏まえ、自分に入ってくる情報を適切に処理できるよう支援する。また、こだわりや偏食等に対する支援を行う。 ・認知や行動の手がかりとなる概念の形成、物の機能や属性、形、色、音が変化する様子、大小、数、重さ、空間、時間等の概念の形成を図ることによって、それを認知や行動の手がかりとして活用出来るように支援する。 | | | | | | | | | | | |
| | 言語 コミュニケーション | ・話し言葉や各種の文字・記号等を用いて相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたりするなど、言語を受容し表出することができるよう支援を行う。 ・個々に配慮された場面における人との相互作用を通して、相手と同じものに注意を向け、その行動や意図を理解・推測するといった共同注意の獲得等を含めたコミュニケーション能力の向上のため支援を行う。 | | | | | | | | | | | |
| | 人間関係 社会性 | ・遊びを通して人の動きを模倣することにより、社会性や対人関係の芽生えを支援する。 ・周囲に子供がいても無関心である一人遊びの状態から並行遊びを行い、大人が介入して行う連合的な遊び、役割分担したりルールを守って遊ぶ協同遊びを通して、徐々に社会性の発達を支援する。・集団に参加するための手順やルールを理解し、子供の希望に応じて、遊びや集団活動に参加出来るように支援すると共に、活動から相互理解や互いの存在を認め合う支援に努める。 | | | | | | | | | | | |
| 家族支援 | | ・見学の機会を設け保護者や家族の方の思いをしっかり受け止め それに沿ったご提案や支援が出来るようになります。送迎時にも、日々の様子を伝え安心して預けて頂けるようになります。 | | | | | 移行支援 | | ・必要に応じて、保育園や学校のお子さんの様子を見学したり、担任の先生とお子さんの様子や支援方法について、情報共有していきます。 | | | | |
| 地域支援・地域連携 | | ・お子さんの通っている他施設や相談事業所など各関係機関との連携もしっかり行っていきます。 | | | | | 職員の質の向上 | | ・定期的な療育会議、職員会議、活動会議の実施 ・職員の各種勉強会や研修への参加 | | | | |
| 主な行事等 | | ・避難訓練（地震、火災、水害、年2回以上）・季節の行事 ・誕生日会 | | | | | | | | | | | |